

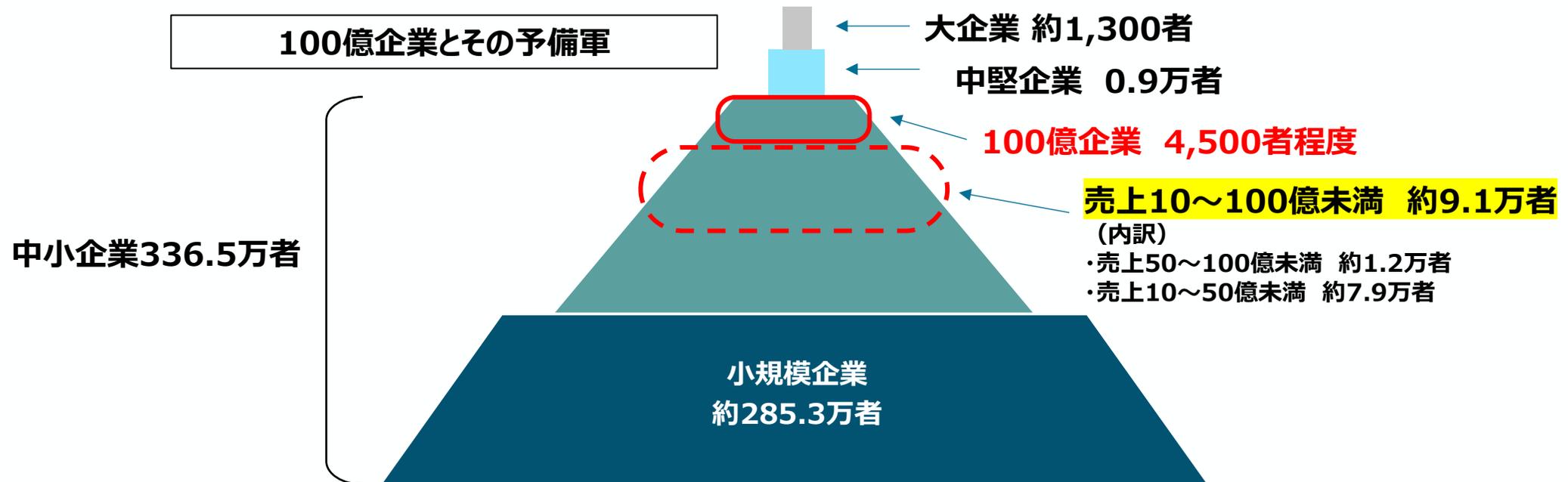
中小企業成長加速化補助金 効果検証シナリオ

2025年3月31日

中小企業庁 経営支援部 経営支援課

成長経営を行う中小企業の拡大に向けて

- 構造的な人手不足、30年ぶりの賃上げ水準、原材料費等の上昇、金利上昇など、マクロ環境が大きく変化。中小企業がこの変化に対応するためには、今まで以上に「経営力」を高め、経営基盤を充実させ、稼ぎ、さらに成長する必要。
- 中小企業にとっての「経営力」は「経営者」そのものであり、本気で成長を目指す経営者により、中小企業は変化・成長が可能。成長した企業の経営者からは、「社員に大企業並みの給与が支払える」、「自分が世の中に影響を与えている実感や貢献できているという認識を持てる」、「大企業とも下請関係ではなくビジネスパートナーに」との声も。
- 経営者の本気の成長意欲を引き出すため、中小企業にとって極めて高い成長が求められる「売上高100億円」をメルクマールに。成長志向の経営者のコミット（100億宣言）を引き出して公表し、これを見た経営者が次に続き成長に向けて一歩を踏み出すエコシステムを創出**すべく**、一連の成長支援策を講じていく。



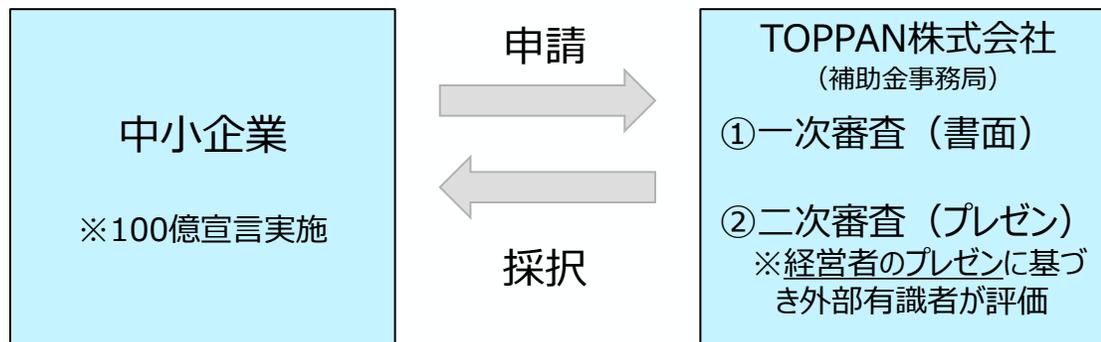
中小企業成長加速化補助金

- 賃上げへの貢献、輸出による外需獲得、域内の仕入による地域経済への波及効果が大きい**売上高100億円超を目指す中小企業の大胆な投資を支援。**

項目	内容
1 上限額	5億円（補助率1/2）
2 事業期間	交付決定日から24か月以内
3 対象者	売上高100億円を目指す中小企業 （売上高10億円以上100億円未満）
4 要件	<ul style="list-style-type: none"> ・「100億宣言」を行っていること ・投資額1億円以上 ・一定の賃上げ要件を満たす今後5年程度の事業計画（賃上げ実施期間は補助事業終了後3年間）
5 対象経費	建物費、機械装置費、外注費 等



【申請の流れ】



【審査基準（ポイント）】

経営力

- ①将来の売上高100億円に向けた中長期的なビジョンや計画を有し、その上で、今後5年程度の経営者の明確なシナリオ、成長余力を最大限伸張した事業戦略（売上高成長率、付加価値増加率、売上高に占める投資比率（本補助事業））
- ②外部・内部環境の分析（市場ニーズの検証、差別化戦略等）
- ③適切な成果目標・管理体制
- ④グループ企業・コンソーシアムの場合は相乗効果

波及効果

- ⑤賃上げ水準（要件値を上回る場合）
- ⑥域内仕入の拡大や地域における価値創造（サプライチェーン、ものづくり高度化、イノベーション、地域資源活用等）
- ⑦地域のモデル企業としての取組（下請取引先に対する取引姿勢、防災等のレジリエンス、女性活躍等）

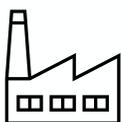
実現可能性

- ⑧早期に実施可能な経営体制
- ⑨財務状況（ローカルベンチマーク）
- ⑩金融機関のコミットメント

5月8日（木）受付開始
6月9日（月）受付締切
詳細はこちら→



【活用イメージ】



工場、物流拠点
などの新設・増築



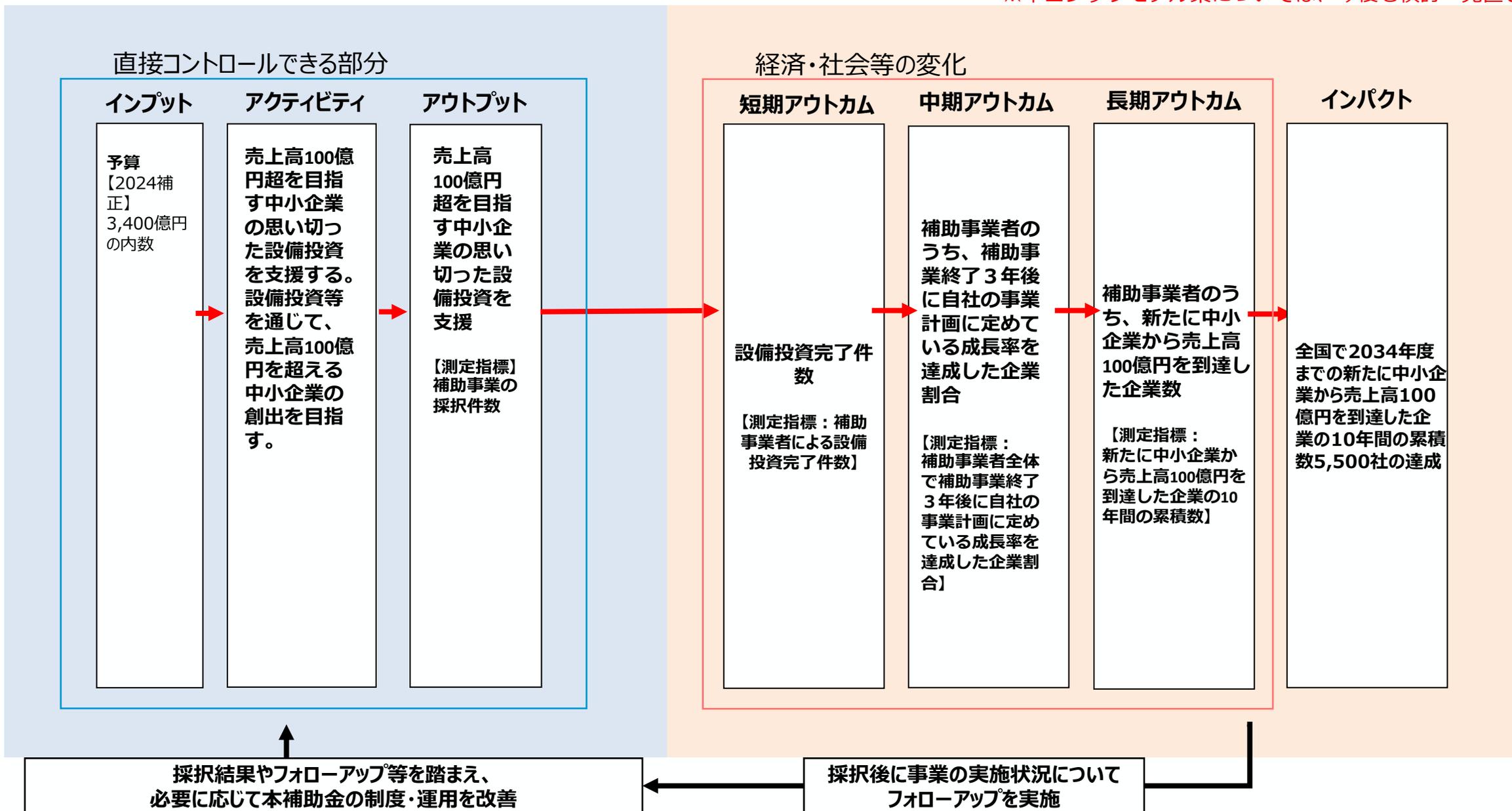
イノベーション創出
に向けた設備の導入



自動化による
革新的な生産性向上

中小企業成長加速化補助金におけるアウトカム目標とロジックモデル（案）

※本ロジックモデル案については、今後も検討・見直し予定



今後のスケジュール

- 採択事業者による効果報告終了までの期間（足下～2030年代前半）においては、採択事業者に対するフォローアップを実施し、本補助金の効果分析や制度・運用改善の検討等を進めていくことを想定。
- また、採択事業者による効果報告終了後には本データを踏まえた検証・分析を実施予定。

